

就活における業界/企業研究の進め方

2023年2月

地域共創研究科 修士1年

1

目次

- 1 業界/企業研究とは何か
- 2 業界/企業研究を行う目的
- 3-1 業界研究の際調べるべきこと
- 3-2 具体的な調べ方
- 4-1 企業研究の際調べるべきこと
- 4-2 具体的な調べ方
- 5 まとめ

2

1. 業界/企業研究とは何か

- ・ 業界研究：世の中に存在する業界について、その構造や存在する企業、今後の全体的な動向(将来性、課題)等について調べる作業
- ・ 企業研究：いち企業について、そのビジネスモデルや経営状況、業界内での位置づけ、将来の展望等について調べる作業

3

2. 業界/企業研究を行う目的

- ・ 目的①：志望業界/志望企業を決める為
→そもそもどのような業界/企業が社会には存在するのかまず知ってから業界や企業を志望する
- ・ 目的②：ESや面接での志望動機/自己PRに必要である為
→就活において自己分析の重要性はよく強調される部分。一方で自己分析の結果発見された指向性や強みは企業と紐づけする必要がある、その為には業界や企業についての知識が必要となる
(例：業務内容と自分の興味を繋げる、企業の課題を分析し自分の強みを繋げるなど)

4

3-1. 業界研究の際調べるべきこと



1- ビジネスモデル

- ・ 販売する商品/提供するサービスは？
- ・ どのように利益を上げるのか？
- ・ ステークホルダーは？など



2- 代表的な企業

- ・ リーディング・カンパニーは？
- ・ その企業の市場シェア割合は？



3- 働く上での強み

- ・ 給与水準は？
- ・ 転職市場において有利か？
- ・ 福利厚生水準は？など



4- 業界の課題

- ・ 業界を挙げて取り組んでいる課題はあるか？など



5- 将来性・展望

- ・ 成長期/成熟期/衰退期の内どれか？
- ・ どのようなチャンスが存在するのか？
- ・ 将来どのようなリスクが存在しうるのか？取りうる打ち手はあるのか？など

5

3-2. 具体的な調べ方

① 業界地図

→特に企業の課題や将来性についての分析丁寧で、自己PRにつなげやすい(業界の課題を自分の強みを活かして解決できる、などの話が考えやすい)。

② 各種就活サイト

→コラムなどで業界研究を行っている。手っ取り早く全体像がつかめる(ワンキャリアやマイナビなど)

③ 経産省の委託事業報告書

→業界の動向について調査の委託を受けたコンサルティングファームがレポートを作成している。業界課題に対する解決策を示していることも多い。



6

4-1. 企業研究の際調べるべきこと

※業界研究と重複する部分もある



1- 企業の特徴

- ・ 経営理念は？
- ・ 会社の規模は？
- ・ ビジネスモデルは？
- ・ 採用プロセス/採用人数は？など



2- 業界での立ち位置

- ・ 業界でシェア何位に位置するのか？
- ・ 取引先に他者との違いはあるか？など



3- 競合に対する強み

- ・ 競合優位性はあるか？
- ・ それはどのようなものか？など



4- 企業の弱み

- ・ 競合よりも劣っている部分はあるか？(これは業界の課題と同じケースもある)



5- 将来性・展望

- ・ 市場は成長期/成熟期/衰退期の内どれか？
- ・ 市場が成長している場合、同様に成長しているか？
- ・ 事業戦略はどうなっているのか？など

4-2. 具体的な調べ方

① IR(投資家向け)情報

→ 企業ホームページから確認可能。中期経営計画などから、企業がどの方向に舵を取っているのか理解できる。

② 採用ページ

→ 企業理念や採用情報など。

③ 説明会、OB訪問

→ 説明会で全体像についておおよそが掴める。OB訪問では更に踏み込んだ話が聞けることが多い。



沖縄銀行第19次中期経営計画(2021)より



5. まとめ

- 業界/企業分析は自己分析と同様に区切りを付けない限り果てしなく続いてしまう作業。目的は志望業界/企業の選定と選考突破に繋がる志望動機、自己PRの作成の為、そこがブレないように作業を進める必要がある。
- 個人的に業界の弱みや企業の課題について特に深掘りしておき、自分の強みでその課題を解決できます、みたいな話がうまくできた時はESも面接も通過出来た印象。